

大会連覇を睨む脇本雄太

大阪・関西万博協賛・第9回ウィナーズカップ（G2）は、3月20日（土）23日の日程で、伊東競輪場において開催される。出場選手の選考基準に「ヤンググランプリ2024出走者」「選考期間における1位回数上位30名」があり、他のビッグレースより若手の自力型が数多く参戦する。舞台が短走路でもあり、勝ち上がり戦から熾烈なスピードバトルが繰り広げられそう。また、最終日第9レースにて、第7回ガールズフレッシュクイーンが第124、26期生の7名により一発勝負で争われる。こちらも目が離せない。



脇本雄太

ながらの参戦が続いているので、今年は早くも3場所欠場。ベストは望めないだろうが、戦える状態では参戦してくるはず。輪界トップの脚力を遺憾なく発揮し、昨年に続き連覇を達成しよう。脇本にとって寺崎浩平の存在は心強い。寛仁親王杯、競輪祭、全日本選抜とG1で3大会続けて決勝に進出。いずれも決勝は脇本の前で戦い、脇本を競輪祭、全日本選抜で優勝に導いている。力を付けているので、引き立て役だけにはとどまらない。2年続けて最優秀選



郡司浩平

悪くなかったし、今年は低調だった清水も、3月玉野記念での走りは復調気配を感じさせた。注目株はワールドレベルのスピードがある太田海也だ。ヤンググランプリ2024での中野慎詞との壮絶な叩き合いは、先行屋としての高いプライドを感じさせた。前を任されれば強気に攻める。四国勢も輪界トップクラスのスピードがあり、4月からSS班に追加昇格する犬伏湧也、昨年後期はG3で3Vの松本貴治とそろっている。中四国でライン形成なら強大な戦力となる。

全日本選抜で優勝し、輪界5人目となる「グラインドスラマー」の称号を得た脇本雄太が優勝に一番近いとみた。相変わらず持病の腰痛と付き合

手賞に輝いた古性優作は、今年も賞に恥じないハイレベルな競走を披露している。21、24年の4年間にグランプリ2V、G1で8Vは圧巻の数字ながら、不思議なことにまだG2は獲っていない。そろそろ主役を演じるか。

春一番に輝け。 Winners IZU come! 第9回 ウィナーズカップGII 2025 3/20(木) 21(金) 22(土) 23(日) 大阪・関西万博協賛 3/23日(土) 第7回 ガールズフレッシュクイーン リンカイカップ 開催!!



古性優作

古性優作は、今年も賞に恥じないハイレベルな競走を披露している。21、24年の4年間にグランプリ2V、G1で8Vは圧巻の数字ながら、不思議なことにまだG2は獲っていない。そろそろ主役を演じるか。

Table with 10 columns: 選手名, 登録地, 期別, 競走得点, 出走回数, 出走率, 出走順位, 出走回数, 出走率, 出走順位. Includes a sidebar with 主力選手プロフィール and 直近12場所成績.

Table with 10 columns: 級班, 氏名, 登録地, 期別, 競走得点, 出走回数, 出走率, 出走順位, 出走回数, 出走率, 出走順位. Includes a sidebar with 出場予定選手.

プロスポーツ

伊東競輪 ウィナーズカップ 号外版

武藤 龍生 (埼玉/98期)

位置取り、差し脚ともにしっかりしていて、成績を高いレベルでまとめている。全日本選抜でスタービー賞にコマを進めると、3月名古屋記念では準決で勝ち星をゲット。上位戦でも目が離せない。



高橋 築 (東京/109期)

1月は岸和田、京王閣と2場所続けて失格と躓いたが、尾を引いてはいないようで、最近は軽快な動きを披露している。全日本選抜では①⑥①⑥着と2勝をあげた。一発の魅力を秘めている。



石原 颯 (香川/117期)

今年はF1戦で早くも2V。1月高松記念1①⑦①着、2月静岡記念1②⑥②着とG3開催は連対ラッシュだ。ビッグレースでは初日予選で大敗続きだが、今の勢いなら好勝負が期待できる。



ガールズフレッシュクイーン

仲澤春香の一強ムードだが...

主力選手プロフィール						
松井 優佳	仲澤 春香	竹野 百香	宇野 紅音	大浦 彩瑛	中島 瞳	熊谷 芽織
25	23	22	21	29	20	21
124期 L1	126期 L1	124期 L1	124期 L1	126期 L1	126期 L1	124期 L1
53.19	57.33	55.67	52.60	52.88	51.61	53.25
52.91	57.00	54.55	52.61	51.76	51.37	53.06
53.00	57.33	55.55	53.44	53.50	52.17	53.71
③ ⑩ ⑥ ⑦	② ③ ④ ⑤	④ ⑤ ⑥ ⑦	① ⑤ ⑥ ⑦	② ③ ④ ⑤	③ ④ ⑤ ⑥	② ③ ④ ⑤
選手能力値	選手能力値	選手能力値	選手能力値	選手能力値	選手能力値	選手能力値
● 機動力	● 機動力	● 機動力	● 機動力	● 機動力	● 機動力	● 機動力
● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ	● ダッシュ
● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚	● 差し脚
● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー	● デンジャー
● 実績	● 実績	● 実績	● 実績	● 実績	● 実績	● 実績
● ボタニシャル	● ボタニシャル	● ボタニシャル	● ボタニシャル	● ボタニシャル	● ボタニシャル	● ボタニシャル
戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数	戦法別勝利数
上連対	上連対	上連対	上連対	上連対	上連対	上連対
下1着	下1着	下1着	下1着	下1着	下1着	下1着
12場所勝利数	12場所勝利数	12場所勝利数	12場所勝利数	12場所勝利数	12場所勝利数	12場所勝利数
1着	1着	1着	1着	1着	1着	1着
2着	2着	2着	2着	2着	2着	2着
3着	3着	3着	3着	3着	3着	3着
他	他	他	他	他	他	他
※2025年03月11日時点	※2025年03月11日時点	※2025年03月11日時点	※2025年03月11日時点	※2025年03月11日時点	※2025年03月11日時点	※2025年03月11日時点
賞金	賞金	賞金	賞金	賞金	賞金	賞金
戦法	戦法	戦法	戦法	戦法	戦法	戦法



仲澤 春香

まだ歴史は浅い大会だが、デビュー2年未満のヤングによる力比べは毎回波乱の結果になっている。今年はどう決着するか興味深い。とはいえ、最もVに近いのは仲澤春香なのに異論はないだろう。12月から正式にナショナルチームの一員となったが、最初から規格外の強さを発揮していて、本格デビューして着外は僅かに1回。9月以降は23連勝中というすごさだ。しかも勝った相手には坂口楓華、太田りゆ、梅川風子と錚々たる名前が並ぶ。ネーショナルズカップでトルコ遠征から帰国直後となる予定だし、レースでも勝負所で併走されたり包囲網を敷かれる可能性はあるものの、そうした課題も一つ一つクリアしているというので克服するはず。長い距離をいけて、ゴール前でもしっかり踏み直せる脚は他の追従を許さない。同期だけでなく、先輩期の竹野百香、熊谷芽織、松井優佳、宇野紅音もことごとく破ってきているので、新世代リーダーとして期待に応える。



竹野 百香

竹野、熊谷がどこまで抵抗を見せられるか。竹野はデビュー当時に比べると流れに応じて組み立ての幅が増した感じで、流れで先行、まくりを使い分けて昨年5V、今年も3Vと124期ナンバワンらしい活躍ぶり。こちらも奥井迪や石井貴子(千葉)を倒して優勝しているし、3月平塚の予選2で尾崎睦を破ったレースも進化を感じさせた。24年ガールズ優秀新人選手賞を受賞した熊谷はトップレーサーも警戒する先行屋。カマシで石井らを6車身千切った2月平塚MNの予選2など圧巻だった。

松井、宇野も若手の中でも屈指の安定感の高さを誇る。124期の卒記チャンプでデビュー当初から注目された松井は意識的に積極策を多用して成果を収めている近況。宇野も前々自在戦の精度を上げていく。

126期からは仲澤に加え、中島瞳、大浦彩瑛が参戦。ともに今年に入って初優勝しているが、大浦は3月岐阜12①着で俄然注目の存在となった。日野未来、石井寛子を一蹴したタテ攻撃の切れ、加速はインパクト絶大だった。このデキならV争いに食い込む。